

# Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2024  
JANUARY

Special  
Concert

Sun. 7th January

1



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター 小林杏成  
グレブ・ニキティン

アシスタント・  
コンサートマスター 田尻 順

会 長 澤田秀雄  
理事長 岡崎哲也  
副理事長 平澤 創

依田 巽

専務理事 廣岡克隆

理 事 阿部武彦 辻 敏

池辺晋一郎 永山 治

伊藤美樹 夏野 剛

大橋 博 南部靖之

コシノジュンコ 福川伸次

庄司 薫 藤原 洋

菅谷貴子 増岡聡一郎

竹中平蔵 森 京子

監 事 磯村文靖

寺西基之

評議員長 金山茂人

最高顧問

評議員 梅沢一彦 中村紀子

鷺海暲明 星 久人

片山泰輔 山添 茂

加藤英輔

特別顧問 飯島延浩

草壁悟朗

福田紀彦

【ハープ寄贈：環境ステーション株式会社】

### 1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

### 2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子

### Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村眞紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 新井瑞穂\*
- 金田澁司\*

### Cellos

- ☆伊藤文嗣
- 笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子

### Double Basses

- 助川 龍
- コーディネーター
- ローズブーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子

### Flutes

- 相澤政宏
- 山山 愛

### Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

### Oboes

- 荒 絵理子
- 浦脇健太

- 荒木良太\*

### Oboe & English horn

最上峰行

### Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

### Bassoons

- 福士りり子
- 福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

### Horns

- 上間善之
- 加藤智浩
- 阪本正彦
- 溝根伸吾

### Trumpets

- 澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌

### Trombones

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佳祐

### Bass Trombone

藤井良太

### Tuba

近藤陽一

### Timpani & Percussions

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

### Librarians

林 知也  
加藤幸子

### Stage Managers

西岡理佐  
山本 聡

### 楽音団員

井伊 準 ◆

### 楽団長

廣岡克隆

### 編成局シニア・ディレクター

藤原 真

### パーソネル・マネージャー

大和田浩明  
謝名元 民

### 楽団委員

小西応興 (議長)  
福留史紘 (書記)  
清水泰明  
多井千洋  
北村一平  
藤井良太

### 事務局長

辻 敏

### 事務局

市川萌都  
伊藤瑛海  
小川博司  
■尾木貴雄  
桐原美砂  
高瀬 緑  
竹内裕子  
長久保宏太郎  
山田道子  
□梶川純子  
榎 日向\*

### 名誉団友

深江泰輔 ◆  
三木晴雄 ◆

### 団 友

天野佳和 佐々木真  
新井 汎 鎌崎 隆  
安藤史子 菅野明彦  
池田 隆 杉浦直基  
石川晴依世 鈴木一輝  
今村和弘 芹澤英雄  
岩澤淳子 曾根敦子  
上原正二 武田英昭  
上原典照 田中英輔  
上原未莉 千村雅信  
内田彬雄 十亀正司  
内田りれ子 龜山 悟  
宇都 爽 中塚和良  
梅田 学 中塚博樹  
大隈雅人 中山 智  
大塚正昭 西依智子  
大楚康男 西脇亮治  
小川さえ子 西脇亮治  
野村真澄 馬場隆弘  
原田英保子 白野 泰  
奥田史史 ペアング  
音川健二 ボーマン  
加藤谷直美 前田健一郎  
笠原勝二 甲藤さち 松崎里絵  
加藤信吾 金澤 茂 丸山正昭  
久保田一穂 三浦正信  
宮本直樹 宮本 睦  
小林照雄 森みさ子  
小林亮子 諸橋健久  
佐川聖二 渡辺 功  
渡辺智郎

☆ソロ首席奏者 ●首席奏者 □客演首席奏者 ○フォアシュペーラー ●インスペクター

■本部長 □シニア・ディレクター \* 研究員・準事務局員 ◆ 故人

# 演奏会でのお願い Concert Manner Guide



## チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットは記載されている座席番号にのみ有効です。  
座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



## 演奏中はお静かに

手荷物に付けている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご  
配慮ください。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめく  
る音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内  
に響きます。

Please be silent during the performance.



## 開演前に携帯電話、時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は  
必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and  
all other noise-emitting electronic devices before the  
performance begins.



## 周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い帽子や高さのある帽子は  
脱いでご鑑賞ください。またリズムをとる行為も迷惑になりま  
すのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way  
which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



## ホール内での録音・録画・ 許可のない写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.



## 演奏中の飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は場内に響きますので、演奏中の  
開封はご遠慮ください。

Refrain from eating and drinking during the performance.



## 補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウリングの発生を避けるために  
きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check  
that your device is suitably set before the performance  
begins.



## 開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。途中入場がある場  
合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a  
performance.



## 咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from  
any coughing or sneezing.



## 曲の余韻も演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance.  
Please hold your applause until the actual end of the performance.

## カーテンコールの 撮影について

定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリー  
ズ・特別演奏会にて終演後のカーテンコールの撮影が可  
能になりました。撮影は自席にご着席のまま、周りのお  
客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

◎前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません

◎フラッシュの使用、目線より  
高い位置での撮影はご遠慮ください

◎SNS等に掲載する際は、  
ほかのお客様の映り込みにご注意ください

◎スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、  
自撮り棒の使用はご遠慮ください

1/7 SUN.

## 特別演奏会「ニューイヤーコンサート2024」

2024年1月7日(日) 14:00 サントリーホール

## Special Concert "New Year Concert 2024"

Sun. 7th. January 2024, 14:00 Suntory Hall

秋山和慶 [指揮]

小山美稚恵 [ピアノ]

小森谷 巧 [コンサートマスター/客演]

Kazuyoshi Akiyama, Conductor

Michie Koyama, Piano

Takumi Komoriya, Concertmaster

J.シュトラウスⅡ：

ワルツ「春の声」op.410(7')

J.StraussⅡ：

Frühlingsstimmen, op.410(7')

ラフマニノフ：

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18(35')

I.モデラート

II.アダージョ・ソステヌート

III.アレグロ・スケルツァンド

休憩(20')

S.Rachmaninov：

Piano Concerto No.2 in C minor, op.18(35')

I.Moderato

II.Adagio sostenuto

III.Allegro scherzando

Intermission(20')

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95  
「新世界より」(45')

I.アダージョ - アレグロ・モルト

II.ラルゴ

III.スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ

IV.アレグロ・コン・フォーコ

A.Dvořák:Symphony No.9 in E minor,  
op.95 "From the New World"(45')

I.Adagio - Allegro molto

II.Largo

III.Scherzo: Molto vivace

IV.Allegro con fuoco

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●特別協賛/株式会社イノアックコーポレーション

●本公演は、文化庁 文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)により、  
18歳以下のための無料鑑賞席を設け300名の子供を招待しています。

楽曲解説はP.06をご覧ください

Innovation & Action  
**INOAC**

1/7 SUN.



©福田カヲ

# Kazuyoshi Akiyama

Conductor

秋山和慶

[指揮]

Conductor Laureate

桂冠指揮者

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1964年に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース響音楽監督、大フィル首席指揮者、札幌響首席指揮者、広響首席指揮者、九響首席指揮者などを歴任。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。現在、中部フィル芸術監督・首席指揮者、センチュリー響ミュージックアドバイザー、岡山フィルミュージックアドバイザー、東響桂冠指揮者、広響終身名誉指揮者、九響桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授など多くの任を務めている。

2024年には指揮者生活60周年を迎える。

Born in 1941, Kazuyoshi Akiyama studied conducting under Hideo Saito at the Toho Gakuen School of Music.

Akiyama has held prestigious posts such as Music Director of the American Symphony Orchestra (1973-1978) and the Vancouver Symphony Orchestra (1972-1985). During this time, Akiyama's reputation spread to Europe and throughout North America, where he has been invited to conduct the Royal Philharmonic Orchestra, the NDR Symphony Orchestra, the Orchestre de la Suisse Romande, the New York Philharmonic, the Boston Symphony Orchestra and many others.

He is the recipient of numerous highly prestigious honors in Japan including the Person of Cultural Merit (2014) for his outstanding cultural contributions.

Akiyama currently holds the title of Conductor Laureate of the Tokyo Symphony Orchestra, the Kyushu Symphony Orchestra and the Vancouver Symphony Orchestra; Honorary Conductor for Life of the Hiroshima Symphony Orchestra, and Permanent Conductor and Music Director/Principal Conductor of the Chubu Philharmonic Orchestra.

In 2014, he celebrated the 50th anniversary of his conducting career.



©Hideki Otsuka

# Michie Koyama

Piano

小山実稚恵  
【ピアノ】

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大国際コンクール入賞以来、常に第一線で活躍。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、多くの演奏会にソリストに指名される。

『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』が、その演奏と企画性で高く評価された。22年からはサントリーホール・シリーズ、第IシーズンConcerto〈以心伝心〉を25年まで開催。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなど、国際音楽コンクールの審査員も務める。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を毎年開催。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び33枚をリリース。最新CD『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれる快挙を果たした。著書に『点と魂』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)がある。

17年紫綬褒章受章。

Michie Koyama is the only Japanese pianist who has won prizes at both Tchaikovsky and Chopin competitions. She has performed with numerous prestigious orchestras such as Montreal Symphony Orchestra, BBC Symphony, Berlin Symphony Orchestra, Tchaikovsky Symphony Orchestra of Moscow, Warsaw Philharmonic, among many others. Most recent project called “Beethoven (and then some)” in six major cities was highly acclaimed by not only her performance but also her programing. And she started Suntory Hall Concert series “Ishin Denshin” from Autumn 2022 to 2025. Since the Great East Japan Earthquake in 2011, Koyama continues to visit schools and public facilities in the affected areas to give performances. Furthermore in Sendai where she had grown up she started a project for children entitled “Bolero” in 2015.

Michie Koyama has been an exclusive recording artist with Sony Classical and released 33 CDs. Two discs of Beethoven's latest sonatas has been released recently, which went on to receive a number of the awards.

The prizes include Grand Prize of the Agency for Cultural Affairs National Arts Festival (2005), award from the Ministry of education in Art Encouragement Prizes (2016), and Medal of Honor with Purple Ribbon (2017).

## 1/7 SUN.

ヨハン・シュトラウスⅡ (1825 ~ 1899)

## ワルツ「春の声」op.410

1882年の冬、「ワルツ王」シュトラウス2世は、アン・デア・ウィーン劇場から、オーケストラ伴奏付き歌曲を作曲するよう依頼された。独唱を務める予定だったのは、高音の派手な歌唱を得意とするコロラトゥーラ・ソプラノ歌手ビアンカ・ビアンキである。彼女は、ウィーン宮廷歌劇場の売れっ子歌手だった。その頃57歳のシュトラウスは、ハンガリーのブダペストで70歳を超えた長年の友人フランツ・リストと親交を深めていた。ワルツのメロディはこの交流時に書き留められたとされる。短い序奏ののち、いくつかワルツがメドレー風に続き、コーダで締めくくられるという構成をとっている。

歌詞は、シュトラウスのオペレッタ「こうもり」の台本作家も務めた劇作家リヒャルト・ジュネの詩作「春の声」に基づく。春が訪れた喜びをこれでもかと歌いあげる内容だ。ウィーンの冬はとてつもなく長く寒い。待ち望んだ末、春は突然にやって来る。喜びのあまり、辛いことはすべて終わりを迎え、悩みも遠くに吹っ飛んでいく、というわけだ。ヒバリやナイチンゲールの心地よい鳴き声が、女声によって模写される。

初演は大成功をおさめ、すぐにアンコールとなった。その2週間後にはオーケストラ版も初演され、やはりその場でアンコールが求められた。もともと女声の華々しい歌唱のために作られたということ意識して聴くと、なるほどと思わされるメロディの跳躍や節回しを随所に聴くことができる。

西田紘子 Text by Hiroko Nishida

作曲：1882年

初演（オーケストラ伴奏付き歌曲）：1883年3月1日アン・デア・ウィーン劇場、作曲家の指揮、ビアンカ・ビアンキの独唱

初演（オーケストラ版）：1883年3月18日ウィーン楽友協会、作曲家の弟エドゥアルト・シュトラウスの指揮

編成：ピッコロ、フルート、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、ハープ、弦5部

セルゲイ・ラフマニノフ(1873～1943)

## ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

1897年の《交響曲第1番》初演の大失敗により大きな精神的痛手を受けたラフマニノフは、しばらく作曲活動に身が入らなくなった。指揮活動などに力を注いでいたが、しばらく経った1900年春、創作意欲を蓄えて取り組み、結果的に「復活」のアピールとなったのがこの《ピアノ協奏曲第2番》である。一般にニコライ・ダーリ博士の暗示療法が功を奏して、作曲の意欲を取り戻したとされるが、当時、博士の家に滞在していた女性エレナにラフマニノフが恋心を抱いたとされ、むしろそれが曲のインスピレーションの源になったという説も存在する。

当時としては斬新だった《交響曲第1番》とはうって変わり、濃厚なロマンティズムが前面に出るこの作品は、初演時から好評を博し、当時すでに前衛的な音楽に夢になっていた人々の間でも評判になったという。

### 第1楽章 モデラート 2/2拍子 ハ短調 自由なソナタ形式

鐘の音のようなピアノの和音が徐々に響きを増していく冒頭から大変印象的である。作曲家のメトネルは、「はじめから鐘が鳴るごとにロシアがすっと立ち上がるかのように感じる」と述べている。2つの主題は息の長いもので、抒情性と哀愁を伴い、さらにピアノソロが活躍する技巧的なパッセージも随所に挿入され、それが典型的な協奏曲の形式へと見事にまとめ上げられるその作曲技法はまさに職人芸的と言うほかない。

### 第2楽章 アダージョ・ソステヌート 4/4拍子 ホ長調 複合三部形式

1891年作の6手ピアノ連弾のための《ロマンス》の冒頭のアルペジオがこの楽章の主題の原型となっているが、これは幸福だった青春時代の追想だろうか。静寂が支配するなか、葉ずれや小川のせせらぎの音も聞こえてくる。

### 第3楽章 アレグロ・スケルツァンド 2/2拍子 ハ短調

舞曲風の音楽に始まり、めまぐるしい旋回運動が繰り返されるが、それと対比されて抒情的な第2主題が置かれる。その第2主題に基づく堂々たるコーダは、エネルギーが最高潮に達し、圧巻である。

高橋健一郎 Text by Kenichiro Takahashi

作曲：1900年～1901年

初演：1901年10月27日モスクワ、作曲家自身の独奏ピアノ、アレクサンドル・ジロティ指揮、モスクワ・フィルハーモニー協会

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、弦5部

## 1/7 SUN.

アントニン・ドヴォルザーク (1841～1904)

## 交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

交響曲第9番《新世界より》は、アントニン・ドヴォルザークがナショナル音楽院(私立学校)の院長としてアメリカで活動し始めた頃にニューヨークで作曲された。

この交響曲では、ベートーヴェンやブラームスの流れを汲む交響曲に見られる高度な構築性が実現されるとともに、アメリカ先住民の民俗音楽や黒人霊歌を想起させる音楽的要素が、アメリカの土俗的な風合いを出すための「彩色」として用いられている。興味深いことに、第2楽章と第3楽章を作曲する際には、アメリカの詩人ヘンリー・ロングフェロー(1807～1882)がアメリカ先住民の伝説に基づいて書いた叙事詩『ハイアワサの歌』(1855)を着想源とした。

**第1楽章 アダージョーアレグロ・モルト** 序奏を伴うソナタ形式。ホルンによる第1主題と木管楽器による第2主題が提示されたのちに、主として提示部の末尾でフルートが奏でる主題を用いた展開部が続く。定石通りの再現部を経たのちに、第1主題に基づくコーダへ進む。

**第2楽章 ラルゴ** 短い序奏ののちに、イングリッシュ・ホルンが有名な主題を奏でてゆく。ドヴォルザークは、『ハイアワサの歌』のうち、主人公ハイアワサとミネハハという女性との婚約を描いた第10章と、ミネハハの葬儀を描いた第20章をこの楽章の着想源としていた。

**第3楽章 スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ** 2つのトリオを持つスケルツォ楽章。ここでは、『ハイアワサの歌』第11章で語られる、ハイアワサとミネハハとの結婚式を祝う踊りが描写されている。

**第4楽章 アレグロ・コン・フォーコ** 序奏を伴うソナタ形式。弦楽器を主体とした短い序奏ののちに、ホルンとトロンボーンによる有名な第1主題と、クラリネットとフルートとチェロを主体とした第2主題による提示と展開が行われる。その後、第1楽章から第3楽章の主題も加わった新たな展開と、トロンボーンが第1主題を吹くところから始まる再現部を経て、全曲が華やかに締めくくられる。

中村 真 Text by Makoto Nakamura

作曲：1892年12月末～1893年5月末

初演：1893年12月16日ニューヨーク、アントン・ザイドル指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック協会管弦楽団

編成：フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦5部



# SEASON 11

～ 2024年、東京交響楽団への期待～

戸部 亮(音楽評論家)

2024年12月にジョナサン・ノット指揮でベートーヴェン《交響曲第5番》を認めたとき、ある深い衝撃、そして懐かしい感情が蘇ってきた。同じ組み合わせでの2015年7月の同曲演奏の際の感慨だ。その演奏を筆者は会場で聴き、『音楽の友』の別冊コンサートガイドにこう書いた。「湯気出す生々しさと各パートの節度よく整えられた繊細さが絶妙なる均衡の上に成り立った圧倒的な演奏。革新さを切り拓くノット&東響の闘争、それもベートーヴェンという巨人とがっぷり四つで対峙した胸をすく闘争と評すべき《運命交響曲》」と。本来、コンサートをガイドするコラムに演奏の価値を認めなくてはと思い、勇んで「評論」を書いた。

この演奏は東響のファンにとっても《運命交響曲》になったはずだ。ノットと東響のベートーヴェンのモダン楽器による解釈の先進性、そして基本姿勢——作品にふさわしい音色や響きの選好、解釈などといったこと——が、ギューッと詰め込まれていた。それからの彼らの快進撃

はあえて言及に及ばない。ここ10年、東京の音楽シーンは彼らの演奏活動が中心になっている。

飛躍、飛躍への準備、次の段階への飛翔、このサイクルをどんどん回していくことで、ノットと東響はどんどん良くなっていった。良くなった内容は、特に取り上げられる時代、作品が幅広くスコープにされたことで、レパートリーが拡充されていき、音色と響きの選好や作り方も変化していったことだ。そして2023年。飛躍を短サイクルで実現させていく、ジョナサン・ノットと東京交響楽団は明らかにまた一段高い領域に進んだと思う。深化が見られた両者の3つの公演から、2024年への進化への期待を述べる。

2023年のハイライトは何といっても、R.シュトラウスの《エレクトラ》だった。この公演は2022年11月に取り上げた《サロメ》とセットに評すべきだろう。コンサート形式でのモーツァルト「ダ・ポンテ



3部作]が完結したのち、オペラ作品で聴衆に衝撃を与えた公演が《サロメ》だった。現在最高のサロメ歌い、アスミク・グリゴリアンをはじめとする歌手陣を揃えたことが公演成功へのパスポートだ。ただ、それにノットと東響は安住しなかった。R.シュトラウス一流の攻撃的な管弦楽法を豪華歌手に対抗できる水準で、しかもふさわしい音色への指向性もはっきりと認められる形で上演して、深い感銘を与えた。

この流れを受けての《エレクトラ》だったわけだが、これが期待にたがわぬ名演であった。幕切れは日本のオーケストラもついにこういう音色を出せるようになったのか、と思わせるもの。立体的で垂直度の高い、しかも高テンションながら柔らかさは保持された音だった。

と、なると、東京交響楽団の2024年、やはり《ばらの騎士》が最注目公演として目が行く。R.シュトラウスが徹底駆使した前衛的な管弦楽法は、《サロメ》、《エ

レクトラ》において悲劇の劇性と融合して、徹底的に推し進められた。作曲家としては調性音楽の際目をつき、時に限界も突破した作品。ノットと東響はそれを演奏で追体験させてくれた。

際目を見たR.シュトラウスが《エレクトラ》の台本作家ホフマンスタールと新たに挑戦して完成させた《ばらの騎士》。際の先に到達した伝統資産との復古、融合させる道をたどるように、「ダ・ポンテ3部作」などで得たモーツァルトのイディオムをノットと東響がどう結び付けていくか。彼らの探求した新しい音の地平が聴きとれるのではないだろうか。

人声の語りや謡い、感情のうねりを精妙な管弦楽によって表現する。よくトレーニングされたオーケストラは、こういう芸当ができる。これを体験できたのが、2023年10月に取り上げられたドビュッシー交響的組曲《ペレアスとメリザンド》(ノット編)だ。とても印象深かった。音



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

## SEASON11

～2024年、東京交響楽団への期待～

できる。冒頭に言及した《交響曲第5番》を12月に取り上げるのも今から楽しみだ。

彼らのベートーヴェンにおける解釈の先進性は常に刷新されている。彼らは以前の単刀直入な攻撃性からもっとポリフォニックで柔和な音になっている。2023年11月の《田園》もそういった性格が認められた。曲の性格面はあるにせよ、彼らの演奏活動の時間の経過とともに、やはり以前とは違ったもの。だから毎年年末に演奏している《第九》、そして約10年ぶりに聞く《運命》はどうなっているのか。この変化率を基本聖典たるベートーヴェンの交響曲で確認できるのは、なんともありがたい。

大物指揮者が客演して名演を残して話題をさらうことが多い中、当代シェフが年間通じて印象深い演奏会を記憶に残していくのは、世界を見回しても限られたオーケストラしかない。やはりノットを中心に、ノットと東響が会得したものを使って、客演指揮者の演奏もまた実り豊かなものとなって楽しめる。名実ともに日本を代表する匠、秋山和慶のブルックナー《交響曲第4番》などの公演、ウルバンスキのショスタコーヴィチ、マトヴィエンコの登場など楽しみは尽きない。2024年の東響は、これまでと変わらずやはり胸躍る。

色を選好していく挑戦を続けてきた彼らが、舞台がなくとも音で、ドビュッシーの音語りを巧緻に表現した。

そういった意味で、2024年5月に取り上げられるアルバン・ベルク演奏会用リア《ぶどう酒》、マラー《大地の歌》は楽しみである。また7月のブルックナー《交響曲第7番》も精緻をベースにパッションが注入された音伽藍を期待したい。

日本のこれまでのオーケストラは合奏能力の整然性を特性として打ち出していた。それを基礎に、作曲家、作品にふさわしい音を探り、つかみに行き、ふさわしい音色でパッションを込めて表現する。そして、企画と演奏活動のスパイラルを通じて体得していく。この積み重ねが彼らの現在の「高み」をもたらした。両者がどういう音を作るのか、共通理解がさらに進んだと考える。

共通理解の変化率は、2024年もまた年末のベートーヴェン、《第九》で確認

# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名（敬称略）

法人  
会  
員

### プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス  
株式会社ドワンゴ

### ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人  
株式会社伊藤総合事務所  
株式会社イノアックコーポレーション  
株式会社インサイド・アウト  
環境ステーション株式会社  
株式会社すかいらーくホールディングス  
株式会社ティー ワイ リミテッド  
株式会社日本財託  
株式会社パソナグループ

### ゴールド会員

株式会社青山メインランド  
株式会社あ佳音  
オリエンタル酵母工業株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
社会医療法人財団石心会  
玉川学園・玉川大学  
玉の肌石鹸株式会社  
中外製薬株式会社  
銚子屋油槽船株式会社  
株式会社TFDコーポレーション  
株式会社鉄鋼ビルディング  
株式会社トーションパートナーズ  
西松建設株式会社  
株式会社NIPPO  
株式会社日本M&Aセンター  
ヒノキ新薬株式会社  
司法書士法人ふなざき総合事務所  
ミヨシ油脂株式会社  
ヤマザキビスケット株式会社

### シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト  
公益財団法人青梅佐藤財団  
川崎信用金庫  
松竹株式会社  
月島食品工業株式会社  
東京鐵鋼株式会社  
司法書士法人村田事務所

### ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社  
NPO法人かわさき市民アカデミー  
酒蔵駒八 別館  
株式会社シグマコミュニケーションズ  
新宿村スタジオ  
有限会社青史堂印刷  
ニッシンエレクトロ株式会社  
富士フィルムビジネス  
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社  
前山歯科医院  
株式会社LALLヒューマンホールディングス

### 賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程  
政鬼運輸株式会社  
山崎製パン株式会社

匿名2社







## <東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

### 個人会員

フレンズ1

年額1万円  
～29,999円

フレンズ3

年額3万円  
～49,999円

フレンズ5

年額5万円  
～99,999円

サークル10

年額10万円  
～249,999円

サークル25

年額25万円  
～499,999円

サークル50

年額50万円～

### 法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけではなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

#### 会員特典

詳細はHP、  
又はお電話でお問合せ下さい

	法人会員	サークル 会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 *1	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 *2	○	○	○	○	○

\*1 一部対象外もございます。\*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

#### 税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合：「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分\*3について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。\*3

\*3但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

# Meet the Musicians

楽団員紹介

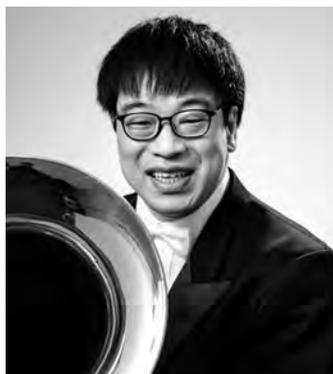
用意周到、緻密で奥妙なチューバ吹き

## 近藤 陽一

Yoichi Kondo

[チューバ奏者]2022年4月入団

趣味:ドライブ、電車に乗ること、路線図や時刻表を見たりしながら旅をした気分になること、ラジオ、読書など……多趣味です!



©N.Ikegami

### チューバを吹けたら即戦力に

元々ピアノを習っていて、音楽が好き。小学3年生のとき、上級生のマーチングに憧れて、小4でプラスバンド部に入りました。楽器は先生が決めるのですが、男子が1人しかいなかったこともあり、チューバに割り当てられました。最初は「音楽の中に入れて、何の楽器でも構わない」という気持ちだったのですが、とにかく練習が厳しくて。中学校では違う楽器を、と意気込んでいましたが、同じ吹奏楽部の姉が「小学校でチューバをしていた即戦力の弟がいる」と顧問の先生に伝えてレールを敷いており、逃げられずでした(笑)。

その後も、特別に音楽の勉強をするわけではなく、一般大学の受験勉強をしていましたが「勉強よりも、音楽の方が向いているかも」と、高3の10月に急遽進路変更。浪人を経て国立音楽大学に進学しました。入学後は「将来は、好きなラジオ関連の仕事に付けたい」と考えていたのですが、大学生活で上を向いて頑張っている友人や先輩に影響され、いつの間にか演奏家を目指していました。

### 吹奏楽とオーケストラと

大阪市音楽団(現Osaka Shion Wind Orchestra)、日本センチュリー交響楽団、東京佼成ウイン

ドオーケストラを経て、東響に入団。吹奏楽とオーケストラとをどちらも演奏してきました。オーケストラ曲は、吹奏楽曲に比べて出番が少ないからこそ、音一つにかけられる比重が大きくなります。たとえば《新世界》のチューバは2楽章にしか登場せず、しかもたった14音しかありませんが、その14音に向けて、何時間も前から音出しをして、緊張感を高めていきます。

コントラバスだったり、トロンボーンだったり、ホルンと合わせたりなど、その役割によって吹き方が変わってくるのもチューバの魅力。吹奏楽では見せ場も多い楽器ですが、裏方として支える役割が大きいオーケストラでは、「チューバが上手」といわれる(くらいチューバが目立つ)のは必ずしも良いことではないと思っています。オーケストラが鳴っているときに、全体がどういう響きになっているかをいつも俯瞰して、考えながら演奏しています。



楽器を始めた頃

インタビュー:事務局

# NEWS & TOPICS

新入団

1月1日付

金田滉司 Koji Kanada [ヴィオラ奏者]

退団

1月16日付

大和田浩明 Hiroaki Owada [パーソネル・マネージャー]

## 第3弾は「ばらの騎士」！ 音楽監督ジョナサン・ノット指揮 R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ

2022年より3年プロジェクトとしておくりするR.シュトラウスのコンサートオペラシリーズ。注目の第3弾は《ばらの騎士》です。

各メディアで絶賛された《サロメ》、「豊穣・苛烈な音響で震え上がる」「圧倒的な音響」と話題を集めた《エレクトラ》に続き、今回も、音楽監督ジョナサン・ノット、演出監修サー・トーマス・アレンのもと、第一線の歌手陣が揃い、総力戦でお届けいたします。

2024年12/13(金) 17:00

サントリーホール

2024年12/15(日) 14:00

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

…指揮:ジョナサン・ノット  
…演出監修:サー・トーマス・アレン  
…元帥夫人:ミア・パーション  
…オクタヴィアン:カトリオーナ・モリソン  
…ゾフィー:エルザ・ブノワ  
…オックス男爵:アルベルト・ペーゼンドルフファー  
…ファニーナル:マルクス・アイヒェ ほか

チケットは2024年5~6月頃に発売予定。  
追って公式サイトで発表いたします。



## 来年のニューイヤーコンサートは「皇帝」!

2025年

1/5 (日) 14:00 サントリーホール

：指揮：秋山和慶

：ピアノ：小山実稚恵

：ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

：ドヴォルザーク：交響曲 第9番「新世界より」

SSシングル¥9,000 SSペア¥16,000 S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000

東響会員先行販売：7/4 (木) オンライン先行販売：7/9 (火) 一般販売：7/11 (木)



## NEXT PROGRAM

原田慶太楼×亀井聖矢 コンチェルト・ナイト&アフタヌーン

3/25 (月) 19:00 東京芸術劇場コンサートホール

：チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」から ポロネーズ

：プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第3番

：ガーシュウィン：ピアノ協奏曲 ヘ調

S¥7,000 A¥5,000



3/26 (火) 14:00 横浜みなとみらいホール

：チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」から ポロネーズ

：プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第3番

：ショパン：ピアノ協奏曲 第1番

S¥6,500 Sシルバー(65歳以上)¥6,000 A¥4,000



3/30 (土) 第718回 定期演奏会

18:00 サントリーホール

：指揮：原田慶太楼

：ピアノ：オルガ・カーン

：藤倉大：Wavering World

：シベリウス：交響曲 第7番

：ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番

S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000 P¥2,500



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00～18:00/土日祝休)

# 東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ  
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」[0歳からのオーケストラ]等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ(演奏会形式)》は、毎日新聞クラシックナビ「2022年開催公演ベスト10」第1位、音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。



Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world, and its Salome in Concert Style was selected as the best Japanese Concert in the "Concert Best Ten 2022" by Ongaku no Tomo magazine, and won the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 40 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート  
【5組10名の小・中・  
高校生無料招待】



NICO NICO  
TOKYO SYMPHONY  
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト  
[TSO MUSIC & VIDEO  
SUBSCRIPTION]  
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE  
**Symphony**

Symphony 2024年(令和6年)1月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764  
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト